

OU STYLE

大阪大学と卒業生をつなぐ情報誌



2018
March
VOL. 2

INDEX

- 3 卒業生インタビュー
関西テレビ放送アナウンサー
編成局アナウンス部専任部次長
関純子さん（1988年人間科学部卒業）
- 6 輝く！卒業生
三村高志さん 武居弘樹さん 未延則子さん 林家染雀さん
- 7 奮闘！阪大生
ヨト部 外国語学部 アメフト部 環境サークル アカベラサークル
- 8 O.U.T.ピックス
ホームカミングデイ 大阪大学の集い リーダーズフォーラム



11 阪大ファミリー

「阪大と私」

河田 聡さん（1974年工学部卒業）

12 卒業生からの寄稿

私の「阪大のプライド」プロジェクト

—長岡半太郎の勿嘗糟粕—

開祐司さん（1975年理学部卒業）

14 海外同窓会ニュース

北米 上海 タイ GAF称号授与

16 各地同窓会ニュース

香川 福井 トヨタ パナソニック

18 インフォメーション

同窓会連合会 卒業生・同窓会イベント



■表紙写真「大阪大学会館」

1926年に設立された旧制浪速高等学校の新校舎として、1928年に待兼山に落成。校舎は「イ号館」（イロハの「イ」と呼ばれ、近年までこの呼び名が使われていた。旧教養部（共通教育）の授業や式典などで使用され、阪大坂とともに豊中キャンパスの名所、大阪大学のシンボルとなっている。2011年の改修工事を機に大阪大学会館に改称。大正時代のゴシック調の建築様式をとどめ、2004年に国の登録有形文化財に指定された。



■裏表紙写真「大阪大学待兼山修学館」

1931年に大阪帝国大学医学部附属病院石橋分院本館として、待兼山に竣工。その後医療技術短期大学の校舎に使用されていたが、2007年に総合学術博物館に改修した。約600点に及ぶ学術標本資料や発明品、歴史資料などが展示されている。中でも豊中キャンパスから発掘された約50万年前の「マチカネフニ」の化石は有名。レトロなステンドグラスがはめ込まれた建物は、2008年に国の登録有形文化財に指定された。



後方の建物は関西テレビ放送本社



アナウンサー歴30年
やれるところまで
やってみよう

関西テレビ
アナウンサー
関純子
編成局アナウンス部専任部次長
（1988年人間科学部卒業）

懐かしい学生時代

—阪大に入学した理由からお聞きします。

関 豊中に住んでいたのが家から近いということもあって何となく阪大かと。中学生のころ、人間科学部があると知って、心理学とか漠然と面白そうだなと思いました。—学生時代はESS（英語研究会）に入部されていたとか。

関 小中高とコーラスをしていましたが、大学に入って英語がしゃべれるようになったらいいなとESSに入りました。父から勧められたことも大きかったです（笑）。英語劇をしていて、学部を超えてたくさんの人とつながって、楽しかったです。豊中キャンパスの図書館下の学食がたまり場でした。

文化祭では、ESSでおでん屋を出店しました。友人の下宿先で大量のおでんを作り、教室に畳を敷き手間がかかって大変でしたが、よい思い出です。

—授業はどうでしたか。

関 憲法の授業は、具体的な事例を基に、それに対してどういう判決が出たのかなど講義が面白く、人気の授業でした。外国人講師もバラエティーに富んでいて、



(左から) 関さん、水越先生、友人2人

語学の授業ではジェームズ・ディーン主演の映画「エデンの東」を英語の教材にする先生もいて印象に残っています。3年になって教育技術学の水越敏行先生の講座を専攻しました。水越先生はとってもダンディな方で女子学生に人気がありました(笑)。講座が「一緒だった友人とはよく会うのですが、先生とはしばらくお会いしていません。大変懐かしいですね。

— ほか印象に残ったことはありますか。

関 人間科学部は「変人学部」と呼ばれていて、サル山があったり九官鳥を飼っている人がいたり、不思議でしたね。

— 人間科学部は今、それを逆手にとって、学部のホームページで、「HENN-JINN(ヘンジン)」というページを作っています(笑)。

— 他に阪大での思い出はありますか。

関 漫画を読んでいるときの脳波を測定する被験者のアルバイトをしたことがあります。どれだけリラックスしているかを研究するそうで、「アルファ波がピンピン出していますね」と言われました(笑)。

— 私が人間科学部にいたころは、入学してすぐに1年生全員で能勢町の山奥に合宿に行きましたけど、当時からありましたか。

関 ありました。みんな仲良くなっちゃったけど、ここに参加できなかった人を仲間はずれにしてはいけないということや、何を言った先輩がいました。こういうことが好きじゃない人もいることを理解しないといけないと、その言葉がすごく印象に残っています。

押してきたらどれか削れ」としかられました。それ以来、どこかを削ってしゃべっても分からないようにするのがプロの仕事だと学びました。

— 実際に経験しないと分からないですね。

関 痛い思いをしなないと分からないですね。許される失敗は新人の頃にしておかないと。あと、フジテレビとの中で、マイクをつけて外にやりとりをしていた時に、自分が映っていないと思って服の中に手を入れてマイクを「ちやちやいじっていたら、フジテレビのスタジオのスクリーンに全部映っていたことがありました(笑)。

— おちやめですね。やりがいはいかがですか。

関 朝の生活情報番組「痛快!エブリデイ」という番組を15年近く担当しましたが、番組を見ていた人に、「いつも見ていたわよ」と言ってもらえることがあります。その人は生活の一部としてずっと番組を楽しんでくれていたんですね。スタジオのカメラの向こうにいる人たちのためにやっているという意識を持たせてもらえて、やりがいを感じます。

リーダーシップを取れる阪大生

— 阪大での経験が役立ったことはありますか。

関 阪大生はリーダーシップを取れる人が多いです。高校生まではグループ行動が多かったのですが、大学に入ったら、一人で考えて行動できる人が多く、すごく楽



大きかった大阪大学ブランド

— なぜアナウンサーになろうと思ったのですか。

関 私が大学4年になった頃、関西テレビに入社したばかりの人間科学部出身の先輩から電話で、「上司から、アナウンサー試験があるので誰かいい学生がいなかったら、私に声がかかりました。」

— アナウンサー試験は関西テレビしか受けていないのですか。

関 そうです。しかも事前準備もしてなくて、何も考えずに履歴書を持って関西テレビに行ったら、グループ面接がありました。自己PRをしなくてはいけないことが分かって、何をしようかとその場で考えて、「コンパでよくやる芸をやります」と言ったら、エレベーターガールの物まねをしたら、当時の桑原征平アナウンサーにすごく受けて、面接を通過してしまいました。桑原アナウンサーにはその後、頭が上がらなませんでした(笑)。

— 素敵ですね(笑)。

— スクールにも通っていませんでした(笑)。

— すが、他にも売込みがあったのですか。

関 有利だったのは、コーラスをやっていたので腹式呼吸ができて、声も通り肺活量も多かったことです。両親



— 趣味で地域のよさこいチームで活動されている聞きましたか。

関 箕面よさこいチームで13年間やらせていただいています。ママ友もできて楽しいです。地域のイベントに出演した際は、阪大のよさこいサークルの祭典にも共演しました。

— これからの展望について教えてください。

関 関西テレビは2018年11月22日に開局60周年を迎えます。私は入社30年になり、60年の会社の歴史の半分を過ごしています。関テレの女子アナの中では最年長なので、それを売りにしているのかなと(笑)。昭和のノリが分かるとか高齢者の気持ちにも近いですよという役割を果たせればと思います。

— 今日はお忙しいところ、ありがとうございます。

— インタビュー
広報課 茂木穂子
(2002年人間科学部卒業
渉外本部 浅田香菜絵
(2011年法学部卒業)



床が浮いて見えるトリックアートの上で。(左から) 関さん、浅田、茂木

— 子育てとの両立で大変なことはありませんか。

関 子どもを保育所に入れるのがむずかしくて、入りやすい保育所のある地域に引っ越しました。関西テレビでも当時ワーキングマザーは少なく草分け的な存在で、育休から復帰してちゃんと仕事をしないと、「だから女は」となるので、いい加減な仕事はできないと思いました。

関 純子(せき じゆんこ)
関西テレビ放送アナウンサー
編成局アナウンス部専任部次長
大阪府豊中市出身。1988年大阪大学人間科学部卒業。「アタック600 関純子のお天気」「痛快!エブリデイ」「ハビくる!」などを担当。現在は「カンテレ通信」「上方漫才大賞」「すてき彩事記」「カンテレNEWS」などに出演している。ブログ「ママアナ関純子がゆく」を執筆中。

8カンテレ

関西テレビ放送株式会社
(大阪市北区扇町)
1958年2月、大関西放送テレビ放送株式会社として設立。同7月関西テレビに社名変更。同11月開局、本放送開始。1997年に社屋移転。社員数約600名。



第33回(2017)「京都賞」(先端技術部門)に、株式会社富士通研究所・情報通信研究機構未来ICT研究所の三村高志さん(1970年基礎工学研究科修士課程修了)が選ばれました。「高電子移動度トランジスタの発明とその開発による情報通信技術の発展への貢献」が評価されての受賞となりました。

平成29年度(第63回)「仁科記念賞」の受賞者に、日本電信電話株式会社に、NIT物性科学基礎研究所の武居弘樹さん(1996年基礎工学研究科博士前期課程修了)が選ばれました。「大規模コヒーレントイジングマシンの実現」を題目にした業績が評価されての受賞となりました。

☆ 輝く！ 卒業生 ☆

「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」に



薬学研究科修了の末延則子さんが選ばれました。昨年12月に発表された日経BP社主催の日経WOMAN「ウーマン・オブ・ザ・イヤー2018」(第19回)において、株式会社ポラオールビスホールディングスの末延則子さん(1991年薬学研究科博士前期課程修了)が「大賞」を受賞しました。末延さんは日本で初めてシワの改善効果があると厚生労働省に承認された医薬部外品化粧品を開発したことが受賞に結びつきました。

「文化庁芸術祭賞」に



文学部卒業の林家染雀さんが選ばれました。平成29年度(第72回)「文化庁芸術祭賞」の大衆芸能部門において、落語家の林家染雀さん(1992年文学部卒業)が優秀賞を受賞しました。受賞の対象となった「染雀晴舞台」芝居の楽しさを表現したものとして高く評価されました。

奮闘！ 阪大生



「第11回ベトナム語スピーチコンテスト」で外国語学部学生が最優秀賞を受賞！
昨年11月に開かれた「第11回ベトナム語スピーチコンテスト」(神田外語大学主催・在日ベトナム社会主義共和国大使館後援)において、外国語学部ベトナム語専攻の学生4名が出場し、優秀な成績を収めました。このコンテストは、「ベトナムと私、10年後」と「試練と成長」をテーマに、6大学、2専門学校、1高等学校が参加し、浜崎紗英さん(1年)が最優秀賞を受賞、森本大聖さん(2年)はカテゴリー-B(2年生のスピーチ部門)で第1位を、浅田奈々さん(2年)もカテゴリー-Bで第3位を、芦田春佳さん(4年)はカテゴリー-D(留学経験者・3・4年生のスピーチ部門)において第1位を受賞するなどの活躍をしました。

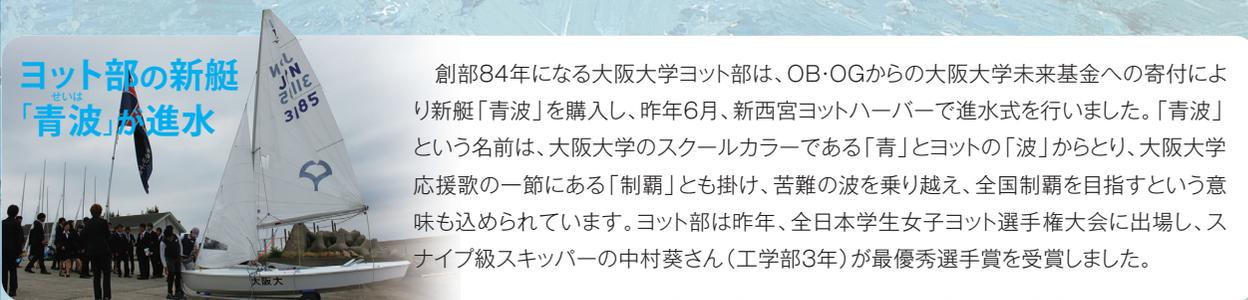


アメフト部TRIDENTSが奮闘！
昨年11月3日、関西学生アメリカンフットボール秋季リーグ2部Bブロック最終戦が神戸・王子スタジアムで行われ、阪大アメフト部TRIDENTSが1986年以来となる1部昇格をかけ、強豪の近畿大学と対戦しました。試合開始から好スタートを切り、近大の猛攻を抑えるなど奮闘しましたが、惜しくも敗退。主将の木村祥太郎さん(工学部3年)は、「昨年の雪辱を晴らし、今年こそ悲願の1部昇格を果たすためにこれまで以上の努力を重ねていきたい」と力強く宣言しました。来年の1部昇格を目指し、ますます活躍が期待されます。

ゲックス
環境サークルGECSが「ecocon(エココン)2017」でグランプリを獲得！
昨年12月に開催された「全国大学生環境活動コンテスト(ecocon)」(環境省、文部科学省など後援)において、大阪大学環境サークル「GECS」が、グランプリと会場賞を同時受賞しました。2003年のサークル設立後、大学内や北摂地域などを中心に河川の清掃やゴミ拾いなどの活動を続けている彼らは、これまでも2013年のecocon初グランプリを含め、自治体からも数多くの受賞があり、地道な活動が高く評価されています。



アカペラサークル「inspiritual voices」が20周年記念ライブを開催！
昨年8日19日、アカペラサークル「inspiritual voices」が、中之島公会堂で創部20周年記念ライブを開催しました。各世代を代表するOB・OGバンドや現役学生バンドが登場。ゲストにはサークルを立ち上げたプロアカペラグループ「INSPI」の初期メンバーもサプライズで登場し、約800人の観客は熱気に包まれました。記念ライブ代表者の小野田葉月さん(外国語学部4年)は、「サークルを作り上げ発展させてくださった先輩方、応援して下さった皆様からいただいた20年分のパワーが詰まったライブになりました」と充実した様子でした。



ヨット部の新艇「青波」が進水
創部84年になる大阪大学ヨット部は、OB・OGからの大阪大学未来基金への寄付により新艇「青波」を購入し、昨年6月、新西宮ヨットハーバーで進水式を行いました。「青波」という名前は、大阪大学のスクールカラーである「青」とヨットの「波」からとり、大阪大学応援歌の一節にある「制覇」とも掛け、苦難の波を乗り越え、全国制覇を目指すという意味も込められています。ヨット部は昨年、全日本学生女子ヨット選手権大会に出場し、スナイプ級スキッパーの中村葵さん(工学部3年)が最優秀選手賞を受賞しました。

●輝く！卒業生 ●奮闘！阪大生
京都賞 仁科記念賞 ウーマン・オブ・ザ・イヤー 文化庁芸術祭賞
ヨット部 第11回ベトナム語スピーチコンテスト アメフト部 TRIDENTS 環境サークル GECS アカペラサークル inspiritual voices

「ええやん！阪大生」ホームカミングデイに最多の520名が集う



関さん



▲(左から)関さん 樋口さん 中山さん

▲B国紳士

昨年4月30日、第12回ホームカミングデイが開催され、前回は上回る約520名の卒業生、在学生、保護者、教職員など「大阪大学ファミリー」が堂に集まりました。

今回は「ええやん！阪大生」と銘打って、さまざまな分野でがんばる阪大生が登場、2016年関西学生テニス選手権大会女子シングルス優勝の樋口菜穂子さん(理学部3年)、西日本学生相撲個人体重別選手権大会85キロ未満級で個人優勝した中山皓太郎さん(経済学部4年)、第8回全国大学生お笑い選手権大会お笑いD-1グランプリ2016優勝の「B国紳士」、下井竜太郎さん(2017年理学部卒業)と山内優範さん(外国語学部4年)、最後はプロで活躍するアカペラグループ「INSPI」(インスピ)が素晴らしいハーモニーの歌声で会場を魅了しました。阪大生からプロに転向した異色の彼ら、メンバーの大倉智之さん(2002年工学部卒業)の「阪大に凱旋できて光栄」の言葉が印象的でした。毎年司会を務める関西テレビ放送アナウンサー関純子さん(1988年人間科学部卒業)の絶妙の話し術と進行で、卒業生は母校を満喫する楽しい一日となりました。

レゴ部ワークショップを ジョイント開催！



昨年4月30日、ホームカミングデイの開催に合わせ、阪大レゴ部が学生会館アセンブリーホールでワークショップをジョイント開催しました。募集を超える参加申し込みがあり、参加者はレゴで動く人形を作ったり、四足歩行ロボットを作ったりと、夢あふれるレゴの世界を楽しんでいました。レゴ部代表の新井亮さん(基礎工学部2年)は、「阪大の一員として、この機会にワークショップができ、大変有意義に感じています。ご参加いただいたお子さんたちにも楽しんでもらえたようで何よりでした」と話していました。

『大阪大学の集いin東京』に550名が参加！

初のライブステージを堪能



ライブステージで熱唱する木山さん



先輩 後輩 Talk

森田 木山さんは1992年のご卒業と伺いました。私はその年に生まれました。

木山 ショック！

森田 スペイン語学科は、灼熱のスペインで大変な学科と伺いましたが、

木山 スペイン語、大変だったんですよ。1年から2年に上がるのに単位を1個落としたら留年するんです。1個落とされたんですよ。これをなんとか留年をせずに済むように先生にお願いしに行こうということになって(笑)。でもよく考えたらスペイン語がしゃべれないから留年なのに、無謀にもお願いに行つて(笑)。結局、1個まですOKだったので何とか2年に上がれたんですけど。そこから心を入れ替えましてちゃんと勉強するようにになりました！卒業も大内先生のご指導で何とか。

森田 大内先生、今日お見えになっていますよ…。

木山 あつ！大内先生。お世話になりました。お蔭様でちゃんと卒業できました。ありがとうございます。

森田 先輩の歌声と話を聞いて、私も頑張ろうと思いました。何をやるかって感じなんですけど、とにかく頑張ろうと思えました！

木山 フレッシュでいいですね(笑)。

昨年12月2日、第9回「大阪大学の集いin東京」が学生会館で開かれ、卒業生、大学関係者ら約550名の「阪大ファミリー」が参加しました。初企画のライブステージでは、NHK紅白歌合戦の出演経験のある木山裕策さん(1992年大阪外国語大学スペイン語卒業)が、デビュー曲「home」、最新曲「旅立ち」をはじめ5曲を熱唱し、参加者は素晴らしい歌声に聴き入りしました。司会を務めたNHKアナウンサーの森田茉莉恵さん(2017年外国語学部ベトナム語卒業)との先輩後輩トークで会場はさらに盛り上がりしました。

第2部の交流会は、卒業後10年となる参加者の一人、下良拓さん(2008年理学部物理学科卒業)の若々しい乾杯の発声でスタート。銀行勤務の下さんは、「専攻の物理を生かした仕事をしています」とスピーチ。お楽しみ抽選会では、サイン入りCDが木山さんからプレゼントされ、大喜びする卒業生もいて最高潮に達しました。今回の集いでは、卒業修了から10年にあたる卒業生をはじめ若い世代の参加が大きく増え、久しぶりの再会や新たな交流など、会場いっぱいには賑やかな歓談の輪が広がりました。

「大阪大学の集い in名古屋」を初開催



大阪大学の集い in 名古屋



講演者の森喜さん

昨年9月23日、大阪大学の集いを名古屋で初開催し、東海、中部地域などから約300名の参加者がありました。昨年の岡山に続く地方都市での開催となり、地元の各同窓会支部、トヨタ自動車やデンソーの企業同窓会、さらに福井県同窓会から多くの卒業生が集まりました。三重県伊賀市で家業の酒造りを営む森喜酒造場専務の森喜るみ子さん（1983年薬学部卒業）が日本酒の歴史と酒づくりについて講演しました。NIT西日本取締役東海事業本部長・名古屋支店長の山本尚樹さん（1987年経済学部卒業）の乾杯の発声で始まった交流会は、熱気に包まれた会となりました。

「大阪大学リーダーズフォーラム」を東京で開催 160名が出席



講演者の泉谷さん

2月6日、東京神田の学士会館で「大阪大学リーダーズフォーラム」を開催し、昨を上回る約160名の出席がありました。この会は、大阪大学・大阪外国語大学の卒業生で、企業をはじめ各界で活躍されるリーダー層の方々に、卒業生同士のネットワークづくりと母校との交流を深めてもらうことを目的に毎年開催しており、今年で6回目となります。

講演会は、NHKアナウンス室長の泉谷八千代さん（1981年人間科学部卒業）に講演いただきました。交流会は、東京で歯科クリニックを開業される真壁麗子さん（2003年歯学部卒業）が乾杯の発声に立ち、世代や業種、学部を超えた卒業生が交流しました。今回、女性の参加者が10数名に増えたことから、「阪大卒女性ネットワーク」づくりの気運も高まり、和気あいあいとした交流会になりました。



阪大卒女性ネットワークの初代会（2月6日）

阪大と私

▽阪大愛過多というところからお聞きします。

河田先生のお身内には一体どれくらいの阪大生がおられるのですか。直近でいうと父とその兄弟3人が医学部卒です。妻は文学部卒、義弟も医学部卒、甥二人は経済学部と工学部です。そのほかにも大勢いて全部は把握できていません(笑)。



昭和30年ごろまで開業していた河田医院
(大阪市北区天神橋筋)。今はビルになっている。

▽一番古い阪大生はいつごろでしょうか。

祖父とその兄弟3人が阪大です。帝國大学になる前の大阪府立医科大学がそれ以前のように聞いています。祖父は戦後しばらくまで天神橋筋5丁目小児科医院を開業していました。その建物は最近まで銀行の支店として使われていました。父は大阪帝国大学を卒業して阪大第一内科の講師をしていました(その後大阪労災病院)。私が阪大に入學したときに、知らない先生から「河田先生の息子さんでは」とよく聞かれました。祖父が「清」で父が「肇」で私が「聡」、他の親戚も全員が漢字一文字の名前なので気づかれたようです。

▽池田のお生まれだそうですね？

父たちが石橋の旧制浪高尋常科から浪高(のちに阪大教養部)に通いましたので、馴染みがあったのでしょうか、親戚の多くは戦後に市内から阪急宝塚線沿線に移り住みました。私も池田で生まれて小中高と池田の附属学校に通い、そのあと阪大です。ちなみに親戚一同、阪大だけでなくみな阪急ブレーブスのファンでした(笑)。

自他共に最強の「阪大愛」を認める工学研究科名誉教授の河田聡さん。河田家には圧倒的に阪大卒が多いという。昨年、工学研究科を退職し、会社を二つ創業し経営するかたわら、今もフォトニクスの研究を続ける河田先生に、「阪大愛過多」について伺いました。



河田 聡

1951年大阪府池田市生まれ。74年工学部応用物理学科卒業、79年工学博士、93年工学部教授、2002年理化学研究所主任研究員兼務、2017年定年退職、名誉教授。

▽身内が集まると話題は自然と「阪大」?

そんなことはありません。でも卒業学部が異なるので、その違いとかの話はときどき出ますね。

▽阪大(進学)を意識したのは何歳くらいですか。

生まれた時から、阪大に行くものとすり込まれていたように思います(笑)。実際に阪大に行くように言われたことは一度もなかったと思いますが、私自身もそれ以外の大学は考えたことがありませんでした。むしろどの道に進むかに少し悩んだ気がします。父から医者になるように言われませんでした。工学部よりも芸術系に憧れました。そちらを選べば阪大には行かなかったと思います。幸いその才能がなかったので、阪大に行つたと言わなきゃ(笑)。

▽3人のお子さんが阪大に進学されなかったのは、父親としてどうですか。

長女は高校を卒業してイギリスの大学に進み、その後南米ボリビアのマゾンの奥地で暮らしています。次女はロンドンの芸術大学を出てデザイナー・アーティストになっています。長男は高校の途中からオーストラリアに行きそのまま向こうの大学と大学院を出ました。私が何も考えずに阪大に行つたものだから、当然子供たちも阪大に行くものだと思っていました。だから彼らが阪大に行かなかったのは、残念というより虚を突かれたという感じでした。私の母方は、画家や映画家の家系でした。父方も母方も代々サラリーマンがいなくて、組織人には向いていない家系のようなです(笑)。大学教授は私だけです。これもサラリーマンといえるかどうか…。

▽最後に阪大への想いを込めて一言

もつとやんちゃにもつとオモロクなつてほしいです。失敗もしたらい。今の阪大は真面目でおとなしすぎる。権力や権威に媚びることなく、阪大はおおらかにもつと遊んだらいいと思います。期待は一言では終わりません。



私の「阪大のプライド」プロジェクト

—長岡半太郎の勿嘗糟粕—



京都大学ウイルス・再生医科学研究所長
開 祐司 (1975年理学部卒業)

縁

あつて、2015年10月24日に大阪時代のレトロなモダン建築の一つである中央電気倶楽部の大ホールで「現代生物学・医学から“生きる”ということを考えてみる」なる講演をさせていただいた。聴衆に阪大渉外本部の吉田富士江さんと中村麻貴さんがおられて、後日、京都に私を訪ねてこられた。この時はじめて、阪大未来基金のことをうかがった。卒業生のハートに眠る阪大の誇りを掘りおこせば基金はさらに発展するのではないかと思った。で、「阪大のプライド」プロジェクトなるものが頭に浮かんでぐるぐる回り出した。ただの思いつきだが、ネーミングは結構気に入ってしまった。そのうちに阪大企画調整主幹の松本紀文さんからOUSTYLEに寄稿してはどう

かと誘われて、今、机に向かって四苦八苦している。

東大といえば安田講堂、京大といえば時計台である。受験生は合格祈願にこの前で写真を撮っていく。阪大にはひとを上から見下ろす威圧的なモノUMENTがない。万博公園の外周道路沿いに開いた門に目線の高さで「大阪大学」とプレートが嵌め込まれているだけである。受験生はこれを背景に写真をとっていく。私はこの見下ろす象徴を持たない阪大を誇りに思っている。「阪大のプライド」などというええかっこしいな振りかぶり方はきつと大阪人にはウケない。そこで越中富山出身の私が書いている。阪大のプライドといえば、まず長岡半太郎初代総長の揮毫になる「勿嘗糟粕」と書かれた扁額を挙げねばなら

ない。「そうはく、なむるなかれ」と読む。どこかでそう聞



長岡半太郎初代総長

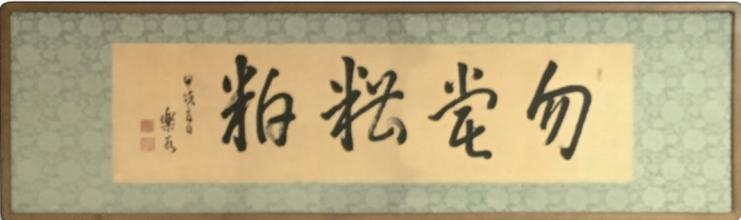


写真1. 阪大生命科学図書館(吹田キャンパス)1階の閲覧室に掲げられた長岡半太郎初代総長の扁額 (2016年8月に筆者が撮影)

官した歯学部生化学を主宰された鈴木不二男先生が、附属図書館中之島分館の閲覧室に掲げられていたものを図書館の吹田移転に際して現在の場所に移された(1、2)。1992年のことである。それでも我々はこ

の扁額を目にすることができ。では、もう一つはどこにあったのか。大阪帝大第3期生の関集三先生が「小生が入学した昭和10年には既にこの額が理学部三階の図書室の受付の壁に掛けられていた」と書かれている(3)。昭和41年(1966年)に理学部が中之島から豊中に移転した時に、関先生が新しい理学部図書室に掲げるように運動された。この時に表装も新しくされたのである(3)。私は1971年(理学部化学科)の入学だから、目にしたのはこれである。当時、理学部の中程に玄関棟と並行に配置されたD棟があつて3層2階の図書室があつた。入室するとすぐに「勿嘗糟粕」の扁額が目に入った。糟粕とは酒かすのこと、辞書的には先人のまねをするだけで独創性がないことのとえである。これを誉めてはいけないのだからづねに独創的であれ」の意になる。

はない。糟粕というのだから話は酒造りである。糟の中では、発酵の熱で醪(もろみ)はふつふつと泡立ち対流する。この間、米の糖分が酵母の働きによつて資化され、芳醇な酒精(エタノール)の生成される。この情景は、立ちふさがる無明の闇に独り立ち向かう科学者が発する芳醇で熱のこもつ

たSpiritを連想させる。発酵が終わると醪を搾って酒粕を分離して清酒ができ上がる。図書室に掲げられた長岡の扁額は「この書架にあふれるものは全て研究のあとに残った粕である」から、その向こうにある揮発性の酒精Spiritを味わえと迫ってくる仕掛けになっている。「既に発表された研究成果の残り香に酔つてはいけな



写真2. 阪大医学部附属病院1階の廊下に掲げられている「堂島川(旧大阪大学医学部校舎)」と題する画。画面の左に今は外観のみとなった茶色のダイビルがみえる。画面左手には田養橋が掛かっているはずである。そばに嵌められたプレートには、新田三喜作とあつて作者から寄贈されたことである。(2016年8月に筆者が撮影)

い」と図書室の入口に掲げるセンスに感動したのである。他人の粕なんぞ読まんでいいというのだ。胸がキーンとするではないか。だからこの扁額は図書館に掛かっているのだければ意味がないのであり、これこそが阪大の揺るがぬ誇りの源泉である。戦前の日本に九つあつた帝

国大学のうちで、大阪帝大は医学部に当時最も小さな理学部を加えただけの第8番目の帝大である。終戦までの日本では帝大だけが総合大学で、あとは単科大学か専門学校扱いであつた。だから単科大学ならば学長というところのものを総長とよぶ。そう思えば中之島の玉江橋と田養橋に挟まれた場所にできた誠に可愛らしい総合大学であつた。写真2は現在の阪大医学部附属病院の廊下に掛けられた画である。中之島時代の附属病院から堂島川の向こうにみえる医学部が描かれている。大阪がいにかに阪大を愛したかが匂い立つ画面である。この校舎の裏に中之島分館はあつた。そして、通りをはさんで土佐堀側に理学部があつた。長岡が揮毫した二つの扁額はこの小さな敷地にあつた二つの図書室の入口に掲げられていたのである。

この扁額に再会すべく冒頭に言及した渉外本部の中村さんに水先案内人になつてもらつて、まずは生命科学図書館にいった。次に理学部の扁額に向かおうと図書館員の方にきいたこと。ええ？ まして扁額のことなど誰も知らなかった。その後に関

たところでは、理学部図書室は廃されて中身は総合図書館に移されたこと。その折に総長からあの扁額は「総長室にこそふさわしい」と迫られたらしい。で、抵抗むなく総長室にいったこと。現在、理学部5階大講義室にそのレプリカが掛けられている。あの扁額は断じて図書室になければいけないと私は思っている。

参考資料と注

- (1) 写真集 大阪大学の五十年(1981年3月 大阪大学)の123ページに附属図書館中之島分館閲覧室の様子が載っている。閲覧室の正面に確かに「勿嘗糟粕」の扁額が掲げられている。
- (2) 鈴木不二男「私の軟骨代謝研究―生化学者の回想―」(退官パーティー用に作られた非売品、1996年3月)の101頁、108頁、110頁に中之島分館の吹田移転当時の記載がある。
- (3) 関集三「長岡半太郎先生揮毫の「糟粕嘗勿」(糟粕をなむるなかれ)と大阪大学図書館」(大阪大学図書館報 13巻1号、1979年4月)153ページ参照。関先生は大阪帝国大学第3期生(昭和10年)に理学部化学科入学して、熱学の大家として知られた。阪大図書館長をされていた経緯もあつて、創立当初の医学部と理学部の面図書館にかげられたこの扁額について記録を残された。

開 祐司(ひらきゆうじ)
富山県生まれ。1975年大阪大学理学部化学科卒業。81年大阪大学大学院理学研究科博士課程単位修得。理学博士。同年大阪大学歯学部助手、同講師、同助教授。米国留学・研究員を経て、98年京都大学再生医科学研究所教授。2015年から現職。



カリフォルニアで 北米同窓会を開催



昨年9月30日、カリフォルニア州トランス市の Miyako Hybrid Hotel において、北米同窓会が開催され、100名を超える参加がありました。講演会では UCLA School of Medicine・VA Healthcare System/BRI 消化管生理学博士研究員の加治いずみ氏と金沢大学名誉教授の米田幸雄氏(1972年薬学部卒業)が講演され、身近でわかりやすい話に参加者の関心も高く、講演終了後も二人に質問者の列が続くほど大変好評を得ました。また、尾上友紀会長(1996年理学部卒業)の挨拶で始まった総会では、北米同窓会恒例の「阪大クイズ」を楽しむなど、出席者は終始和やかな雰囲気で交流しました。

タイ同窓会を開催



3月3日、大阪大学タイ同窓会 Workshop & 懇親会がバンコク市内で開催され、大阪大学への留学経験を持つ卒業生、教職員など約70名が出席しました。Itthichai Arungsri sangchai 同窓会会長の挨拶で始まり、井上毅バンコク日本人商工会議所専務理事ら同窓生4名による講演が行われた後、4つのブースに分かれて同窓生が勤務する在タイ企業等との相談会も行われました。ワークショップ後の懇親会では、阪大グッズが当たるゲームも行われ、和やかな雰囲気の中で旧交を温めました。

Global Alumni Fellow

「Osaka University Global Alumni Fellow」を授与

「Osaka University Global Alumni Fellow」の称号は、学術交流や学生交流の推進並びに海外で活躍する卒業生との関係強化など、国際的なネットワークを拡大する一環として2015年2月に創設し、大阪大学を卒業(勤務)後、海外の大学や研究機関などで活躍されている方に授与しています。2017年度は以下の5名の方を含めた12名に授与しており、これまでの授与者は37名となりました。



(左) Dr. Yoichi Ando ケルン大学 教授



(左) Dr. Nguyen Ngoc Binh ハノイ国家大学工科大学 前学長



(左) Dr. Sidney Chin Hung Cheung 香港中文大学 教授



(左) Dr. Jian-Jiang Zhong 上海交通大学 教授



(右) Dr. Yang Qi 東北大学(中国) 教授



上海 同窓会を 開催

昨年9月22日、大阪大学上海同窓会が上海市内のレストランで開催され、大阪大学留学生、教職員など20名余りの参加がありました。上海同窓会長の久保彰人氏(1974年工学部卒業)、河原源太理事・副学長から挨拶があり、小溝東アジア拠点長は、「上海交通大学と本学が重要な学術交流パートナーとして連携を強めていくにあたり、上海同窓会との協力連携関係をより一層強めたい」と述べました。

「香川いちよう会」が設立30周年を祝う



昨年7月23日、香川県高松市内のホテルにおいて、大阪大学同窓会「香川いちよう会」の設立30周年記念総会が開催され、100名を超す出席者が盛大にお祝いをしました。香川いちよう会は香川県に在住する大阪大学・大阪外国語大学卒業生が学部を超えて集う同窓会で、現在600名を超す卒業生が会員になっています。公益財団法人高松観光コンベンションビューロー理事長の佐野正会長（1973年工学部卒業）から、「恩地裕先生（故人・元大阪大学名誉教授、初代香川医科大学附属病院長）の呼びかけで1977年に発足したこの会もはや30年となりました。少子高齢化の進む香川県で阪大卒業生の受け皿となるよう、また香川県の発展のためにこの会をますます盛り上げていきたい」と挨拶がありました。

「トヨタ阪大会」を盛大に開催 阪大卒新入社員の頑張る姿にエール



昨年4月21日、毎年恒例の「トヨタ阪大会」総会が豊田市内のホテルで開かれ、400名を超えるトヨタ自動車の阪大卒業生が出席しました。トヨタ阪大会は大阪大学同窓会連合会の職域同窓会にもなっており、現在約1100名の卒業生が在籍しています。新入社員にとっての登竜門(?)ともなっている余興の芸では、先輩審査員からの厳しい叱咤と温かい励ましを受けながら懸命に頑張る姿には、学生から社会人になった自覚と責任感がにじみ出ているようでした。このあと豪華賞品が当たるお楽しみ抽選会で会場は大いに沸き、夜遅くまで熱気に満ちた交流会が続きました。

福井県同窓会に 「阪大女子の会」が発足



大阪大学福井県同窓会に女子会「はんなごの会」ができました。福井県は共働き多し、持ち家広し、3世代同居多し、と3拍子そろった土地柄で、女子トークの話題が尽きることはありません。和文化を体験しランチを囲む、肩肘張らない交流会を不定期に開くことになりました。第1回目の活動は、昨年6月18日に箏（こと）の演奏を体験。箏の基礎知識の講義に始まり、実習を経て、講師によるミニ演奏会と盛りだくさんな内容でした。第2回目は美文字の会を予定しています。

（記事写真提供：阪大女子の会）

「パナソニックOBいちよう会」を開催



昨年11月12日、「パナソニックOBいちよう会」第15回総会が大阪市内のホテルで開かれ、パナソニックの元社員ら62名が出席しました。この会は大阪大学を卒業後、パナソニック（株）で働き、現役を退いた人が集まる親睦会で、昨年から会員による「講話会」も開催されるなど、「退職後の私のプロジェクトX」をコンセプトに会員相互の交流が図られています。総会でパナソニックの現況や会の活動などが報告され、記念講演では、森喜酒造場専務の森喜のみ子さん（1983年薬学部卒業）から、「るみ子の酒」誕生の物語が熱く語られました。続く懇親会は、和気あいあいとした雰囲気の中で「温故知新」の交歓が行われ、盛會裡に閉会しました。

（記事写真提供：パナソニックOBいちよう会）



第13回 大阪大学 ホームカミングデー 2018年4月30日(月・祝) 10:00~

いちょう祭開催中!

卒業生も在校生も みんな集まれ!

同日開催の学部同窓会もあり! 詳細は各同窓会へ

10:00~11:30 at 大阪大学会館 講堂

交流会 12:00~13:30 at 学生交流棟 1階食堂

プロサッカー観戦

臨時授業(無料)を 実施します。 必ずご参加で 参加してください!

ホームカミングデー/各学部同窓会イベントのご案内

2018年4月30日(月・祝)

※ホームカミングデーの日に開催を予定しています。(2月末現在)

- 本** ●大阪大学同窓会連合会総会 9:15~ 大阪大学会館
- 経** ●経済学部同窓会/ホームカミングデー 13:45~ 経済学部本館中庭会議室
- 理** ●理学部同窓会/講演会 14:30~ 理学部J棟2階南部陽一郎ホール
- 永契会(理学部化学系同窓会)/総会・懇親会 17:00~ 理学部G棟1階塩見記念室
- 理学部物理系同窓会/懇親会18:00~ ミュージウムカフェ「坂」
- 理学部生物同窓会/幹事会・総会・懇親会 17:00~ 理学部本館4階生物セミナー室
- 基** ●基礎工学部機械工学同窓会/総会 14:00~ 基礎工学部J棟1階セミナー室

「2018年卒業生・同窓会イベント」のご案内

8月18日(土) 大阪大学の集いin福井
ザ・グランユアーズフクイ(福井市)

12月1日(土) 大阪大学の集いin東京
東京国際フォーラム(東京・有楽町)

【各学部同窓会イベント】

- 工** 4月27日 澤電会東京支部/総会・講演会 東京 メルパルク東京
- 工** 5月26日 工業会東京支部/総会 東京 学士会館
- 工** 5月30日 工業会大阪支部/講演・見学会 大阪大学工学研究科 センテラス
- 経** 5月31日 東京待兼会(経済学部同窓会東京支部)/東京 学士会館 総会兼春季懇話会(青雲会合同)
- 工** 6月1日 澤電会/総会 大阪 新阪急ホテル
- 工** 6月11日 工業会/総会 大阪 ヴィアアレ大阪
- 外** 6月30日 咲耶会北海道支部/総会 北海道 札幌第一ホテル
- 歯** 7月8日 歯学部同窓会関東東北支部/総会 東京 東京医科歯科大学
- 法** 7月21日 青雲会/総会 大阪 太閤園 ゴールデンホール
- 外** 9月8日 咲耶会東京支部/総会 東京 学士会館
- 外** 10月20日 咲耶会/総会・懇親会 大阪大学会館

- 基** 10月20日 基礎工学部同窓会東京支部/総会 東京 学士会館
- 外** 11月17日 咲耶会東北支部/総会 仙台 仙台駅ビル
- 工** 11月17日 尚釀会(工学部醸造・醱酵・応用生物工学科同窓会)/講演会・総会
- 文** 11月23日 文学部・文学研究科同窓会/総会 大阪大学会館
- 外** 12月8日 咲耶会名古屋支部/総会 愛知 アパホテル名古屋錦

【海外・地域・職域同窓会イベント】

- 4月6日 トヨタ阪大/総会 愛知 名鉄トヨタホテル
- 7月29日 香川いちょう会/総会 香川 JRホテルクレメント高松
- 8月18日 福井県同窓会/総会 福井 ザ・グランユアーズフクイ
- 9月30日 パナソニックいちょう会 大阪 ホテル・アゴラ大阪守口
- 11月17日 名古屋待兼会 愛知 ローズコートホテル

※日程等の詳細は各同窓会にご確認ください。(2月末現在)

INFORMATION

展覧会のお知らせ

「四大文明の源流を求めて」 主催 大阪大学総合学術博物館、豊中市、毎日新聞社ほか

大阪在住の中村貞夫さん(1957年文学部卒業)の展覧会が下記のとおり開催されます。

中村さんは還暦を契機に四大文明発祥の地を訪ね、「水」をテーマに約20年かけて大作を次々と描きました。展覧会では初期～中期の作品、四大文明の大作など50点余りを展示します。

①大阪大学総合学術博物館・待兼山修学館

- 初期作品から中期の自然風景、富士山の連作など約30点
- 2018年4月27日(金)～6月30日(土) 10時30分～17時 入場無料

※詳細は大阪大学ホームページ等でお知らせします。



白ナイルマーチンソン滝

演奏会のお知らせ

大阪大学交響楽団110回定期演奏会を下記のとおり開催します。

- 日時:2018年6月17日(日)
 - 場所:豊中市立文化芸術センター大ホール
- ※チケット情報等、決まり次第、大阪大学交響楽団ホームページ等でお知らせいたします。



大阪大学共創機構渉外本部卒業生係
Tel 06-6879-7196 Fax 06-6105-5982

Email(お問い合わせ専用)
alumni-info@ml.office.osaka-u.ac.jp



OU Mail News

卒業生のためのメールマガジン、OU Mail Newsを毎月配信中。大学の旬な話題やイベント案内、お得情報なども拡充してお届けしています。ご希望の方は、お名前、ご連絡先(住所・電話)、メールアドレス、大学との関係(卒業学部・卒業年月日など)を左記メールアドレスまで、お寄せください。



「大阪大学同窓会連合会」からのお知らせ

各学部・研究科ごとに組織される同窓会をはじめ各種同窓会の発展に寄与するとともに、同窓会相互の交流、連携を推進することにより、卒業生等の交流、親睦を図り、併せて大阪大学との連絡を緊密にし、広く社会に貢献することを目的に平成17年7月25日に設立されました。



総合大学のメリットを最大限に活かした「オール阪大」としての人的ネットワークの構築を進め、大学と社会との連携を強化し、大阪大学の一層の発展と全同窓生の社会での活躍に資するために次の活動を行います。

- ①部局同窓会相互の交流、連携の推進
- ②新たな地域同窓会及び職域同窓会などの各種同窓会設立の支援
- ③卒業生等と大阪大学との連携の促進
- ④その他、本会の目的に沿った事業活動

大阪大学同窓会連合会の熊谷信昭会長(第12代総長)が1月21日にご逝去されました。

平成17年7月25日の同会設立に至るまでの調整と初代会長として13年半にわたり部局同窓会を含めた全学同窓会の発展に尽くしてこられました。

天神祭船渡御が行われたこの日は、大阪大学が「学問の神様」大阪天満宮の行事に初めて参加した日。阪大船の上で記念すべき発足式が行われ、「天神祭船渡御の日が同窓会連合会の誕生日。母校大阪大学の発展を祈りたい」との熊谷会長の強い想いに、お祭りに参加した卒業生・名誉教授・教職員・学生等の阪大ファミリーが創立の地・中之島で結束を固めた日となりました。



阪大船上での発足式。(左から)当時の宮原秀夫総長、熊谷元総長、金森順次郎元総長

大阪大学カード入会のご案内



「大阪大学ファミリー」のための特別な一枚

大阪大学と大阪外国語大学の卒業生、教職員、元職員だけが持つことのできる、「大阪大学ファミリー」の証。それは、使うほどに母校の支えとなるカードです。カードホルダーの皆様が大阪大学カードをご利用になると、その利用金額に応じた提携手数料が三井住友カード(株)から大阪大学に還元され、教育、研究、学生支援などに活用されます。

国立大学法人大阪大学/三井住友VISAカード

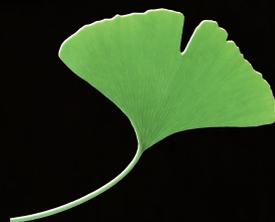
入会のお申し込みは大阪大学ホームページから www.osaka-u.ac.jp/sp/oucard/

阪大カード 検索

全世代を包括する「阪大オリジナルグッズ」



阪大グッズは大阪大学生協で扱っています。 www.osaka-univ.coop/shop/02_2.html



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

■発行月／平成30年3月

■編集・発行／国立大学法人 大阪大学共創機構渉外本部卒業生係
〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-8 テクノアライアンス棟9階
TEL.06-6879-7196

■編集協力／毎日新聞社総合事業局